主要記事

【新体制スタート 座談会】 課題解決力強化へ「価値」向上

(2~3面)

新役員と主要活動紹介 (4面)

まいりました。諸先輩に改来、43年、今日まで立以来、43年、今日まで中間をできる。 敬意を表します。まいりました。諸

「。 統を受けついでまいりまために活動するという伝中小建設業の地位向上の地域社会のため、また、 公益法人から

まず

あっ 合工

シリーズ



いたしま

前から始まってや総人口の減少は、問題であります。 **一層の減少はっておりまっておりまりまる。日本の6す。日本の6** 国も都も業界も一体とな不安があります。そこで建設産業の未来に大きな

法人に衣替えいたしまし

事者は3分の1減少するり、あと10年で建設業従 と予想されており

よろしくお願いいたしまでございます。どうぞ、長に選任されました山口 本年の総会において会

V 手確保と生産性

一般社団法人 東京都中小建設業協会

会 長 Щ 口

企業説明会の開催やイン明るい話題です。 高騰時代を乗り切るにはれません。企業が人件費人件費の高騰は避けて通

たします

中小の進路を開く 特別寄稿②

あり、同種の団 を言えなく そもそも、 ても複数 じである。

義的で解釈の余地が多分 きかといった具体性が全ガンには、誰が何をすべ 紀以上も前から良く耳に いうと、こうしたスローた。何故そうなるのかと が、事は何も進まなかっしたスローガンである くないことと、文言が多

原因であろう。また、スロらばらであること、目標像がば きたの

にのが、バブル崩壊以 正直者がバカを見て

すが増加していることは 平成26年ころから若年層 2 り、様々な対策を打ち、

で人材確保競争になればが、これから他産業者間に取り組んでおります「 向

り準やなす

一 一 億総活躍で対応すると 一 同時に、事業の生産性向 ルー 同時に、事業の生産性向 ルール企業にとってはかな 中小企業にとってはかな しかありません。都中建 しかありません。都中建 しかありません。 ここ しても特別委員会を設 しても特別委員会を設 しても特別委員会を設 しても特別委員会を設している。 ます。大地震も予想され都と国で協定も結んでいう役割があります。東京う役割があります。東京会の安全に寄与するとい会の安全に寄ります。をいます。都中建には地域社ます。がは、災害対応であり がは、 災は、 災害 炎加ください した。各位、 積極的にご 体制を強化しなければなりません。資材の確保やりません。資材の確保やりません。資材の確保やりません。資材の確保やいずれも難しい課題ではありますが、それぞれの解決に向けて最大限の経はありますが、それぞれのはありますが、それぞれのはありますが、それぞれのはありますが、それぞれのはありますが、それぞれのなさぬばならぬ何事もないたします。上杉鹿ではないのなさぬではありますが、それぞれのなさぬばならぬではありますが、それぞれのなさぬばならぬではない。 力をお願いいたり」をもう一つ で、それぞれの、それぞれの、それぞれのはさぬなりけるさぬなりけるさぬなりけるであるとした。 上杉鷹 かんしめ

> 平成28年度運動方針 スローガン

中小の進路を開く都中建

- 1. 若年・女性技術者・技能者の入職と定着
- 2. 発注の平準化及び工期の適正化
- 3. 建設業の生産性の向上
- 4. 防災対策の強化

東京都中小建設業協会

巖 編集人 渡邊 裕之 発行人 山口

> 〒 160-0022 東京都新宿区新宿2-10-7 TOMビル5階

> > 新

1 V

時代

対応

룎

小建設業団

が明記されたりでうると格業者」と定義すること

当初、社会保険に加入しが明記されたのである。

電話 03(3356)7711代 FAX 03(3354)7271 http://www.tochuken.or.jp/

法人等の組織を会員と体に分けられる。しかし、の団体と専門工事業の団 れらは、 業者組合) 或いは事業主であるとこ し、その代表者は経営者 え切れないほどある。 かし、建設業の団体は数 (労働組合) もない。し 大きくは、元請 もユニオン ルド そ ではないのが一般的である。 ではないのが一般的である。 ではないのが一般的である。 ではないのが一般的である。 を持つのが一の専門工事の建 る。所属する団体も一つ は元請になるケースもあ や受注する案件によって し、専門工事会社も丁 事の建設業許可 般である 場 の建設業団体の主張は、のがベターである。従来ののない主張にとどめる

要もないので、当たり障

例えば、技能者のという問題もある。

技能者の社員

前が社会で発言権を得たけ、職人の親方や専門工け、職人の親方や専門工力、職人の親方や専門工

ただし、波風を立てる必

くなるから主張はする。何もしないと存在感が薄

実情をよく知らなかったーガンをつくった人達が

降の建設業界である。

能者が保険に加入するわ たら会社が倒産する、

けがないなど、

業界全体

著者は、こんな状況を

合という名称 の団体も存在 は構成員の多 は構成員の多 たが、本当にそうであっあるように捉えられてき

あれば、

職人の地位向上、

けで実際には請負契約の

その具体策として主張しと叱咤され続けてきた。

し

の対応、ITの対応、IT

等々、課題は・

ら正直者が馬鹿を見ぬよ

芝

浦

業

大

例えば、

職人の問題で

える。

そんな風だったように思

へ 直用という業界用語には ・ 直用という業界用語には ・ は員の意味はないのにス ・ なっていたり、揃いのユ なっていたり、揃いのユ

ろは同じである。

は、政治の55年体制と同には同じ穴の狢というの関係にあるようで、実際

教

授

手分譲住宅業者 (パワーーカーでは、もっと前から複数の大手が大工の社ら複数の大手が大工の社のでは、もっと前かまが、ハウスメ

だと思う。 がと思う。

めの場が建設業団体なの間をやるかを具体的に決している。課題を整理し、誰が何をやるかを具体的に決める必要がある。そのためる必要がある。そのためる必要がある。

日、東京・千代田区のKK(豊田剛会長)は5月23東京都中小建設業協会 Rホテル東京で第4回2日、東京・千代田区のK

通

時代は、何もしなくても代だったのである。良いけではない。 良い時 木 ることはない。しか

創設などである。 田本型マイスター制 職人の社員化(直出 。四半世の 用化)、 り、正直者がバカを見てまれっ子が世にはばかいがを繰り返すような憎 つくり、

ず、下請を叩いてダンピである。結果、職人を雇わしまったのは、そのせい 保険に加入して訓練校を職人問題に取組み、社会抜けなかった。真面目に負と称しているものを見 の多くが倒産、廃業して 取り組んだ真面目な会社 専属下請であるものを社 休暇の確保にも のほとんどが社会保険問 のほとんどが社会保険問題である。技能者 のほとんどが社会保険問題である。 のほとんどが社会保険問題である。 は能者 会保険未加入対策を建設 方策2011」である。社 業の再生と発展のための 業の再生と発展のための 未加入企業を「不良不意業行政の重点政策とし、 ぐに分かることである。は、実態を分析すればす 題に起因していること

「不良不適 のである。

には、大手にはない多様 性がある。多様性を活か 中こと、則は、業界横断 的に中小建設業団体の力 を結集することが、新し い時代を生き抜くために は必用である。そのため にも、まずは、それぞれ の団体が55年的体制から 脱する必要がある。皆様

(「新体制」3面に)

常総会を開催。任期満了に伴う役員改選も行われ、新会長に山口巖副会長、新副会長に山口巖副会長、新副会長に連辺健司と、新副会長は「品確法の指針田会長は「品確法の指針田会長は「品確法の指針であような効果があった。今年の夏には業界にた。今年の夏には業界にた。今年の夏には業界にた。今年の夏には業界になのような効果があった。

接拶した。 16年度事業計画では、 16年度事業計画では、 201年度事業計画では、 201年度事業を 201年度 201年度事業を 201年度 20

人材確保だけではな は、この多様性はない。 は、この多様性はない。 は、この多様性はない。 は、この多様性はない。 山積である。T化の推進 に業場小 へな 能 吊馬 五 能者の入職と定着 中小建設業協会 44回通常総会 都

述べたように、日本には、 エニオン(労働組合)も ユニオン(労働組合)も ない。しかし、よく考え てみると中小建設業の団 体はたくさんある。専門 体はたくさんある。専門 山新 口 会 |副会長 長

中 建

門学校との協働で独自の門学校との協働で独自の合同企業説明会を開催したほか、建設業振興基したほか、建設業振興基との開始を検討するなど、の開始を検討するなど、の開始を検討するなど、が、た。

協力をお願いしたい」と ・ 協力をお願いしたい。ぜひご ・ がいる。 ・ では、 ・ では